

伊豆の国市総合計画後期基本計画 令和4年度内部評価に対する外部評価と市の考え方

意見番号	項目	総合計画審議会委員から寄せられた意見	市の考え方	担当部署
1	全体	<p>7つの基本方針「政策の柱」基本構想・基本方針を掲げ取り組み、確実に進め、着実に実現に繋いでいく作業は、決して簡単なものではありません。</p> <p>急がれる課題対応以外は、常にビジョン・未来像を描きながら、夢のある展望「みんなが主役の町のすがた」の実現に向け、多岐にわたる難題を市民ファースト目線で取り組んでいって欲しいと願っています。</p>	<p>「みんなが主役の町のすがた」の実現に向けて、市民・団体・事業者と行政の協働によるまちづくりをより一層進め、様々な地域課題の解決に取り組んでまいります。</p>	企画課
2	重点取組4-4-2 未来を築く教育の推進	<p>「まちづくりの基本方針4 重点取組4-2 未来を築く教育の推進 教師のICT活用指導力の向上について」のK P Iに関し、市内小中学校にICT機器（電子黒板や生徒用端末）が普及したので、今後も授業内容の研究を進めていきたい。</p> <p>また、実践されている好事例な授業を積極的に公開し、教員間の情報交換の機会が増えていくことが望ましいと考えています。</p>	<p>教員主体となる情報化委員会を組織し、ICT機器の活用に向けて、授業教材の研究や開発を行っております。また、情報を共有することで、教員の指導の均質化と向上を図っております。</p>	学校教育課
3	全体	<p>全体としては、順調に進んでいると思われまます。</p> <p>市全体の観光交流客数については、新型コロナウイルス感染症の影響がある中で伸びていませんが、大河ドラマ館や物産館の取組みは、将来の観光振興の基盤づくりになったと評価できます。</p>	<p>令和5年度の途中から行動制限がなくなったことにより、人流が拡大しつつあります。また、コロナ禍後の新しい生活様式にも対応していけるよう努めてまいります。</p>	観光文化課

伊豆の国市総合計画後期基本計画 令和4年度内部評価に対する外部評価と市の考え方

意見番号	項目	総合計画審議会委員から寄せられた意見	市の考え方	担当部署
4	基本方針2. しごとをつくる、基本方針3. 流れをつくる	<p>策定中の商工業振興ビジョンと市商工会が策定した『経営発達支援計画』や『事業継続力強化支援計画』との連携を図っていくことが重要であると考えています。</p>	<p>現在策定中の伊豆の国市商工振興計画は、経営発達支援計画など他計画との整合に配慮した計画としております。</p> <p>計画に記載する事業は重点事項として取り組み、その他事業においても商工会と連携を図りつつ、事業を実施してまいります。</p>	商工課
5	基本方針1. 豊かな自然に抱かれる伊豆の国市（自然・生活環境）	<p>市全体の二酸化炭素排出量は、どのように積算しているのでしょうか。</p> <p>国は、金融機関に対し、中小企業における排出量削減に向けたソリューションの提供を強く求めています。</p> <p>他自治体では、金融機関を含め、排出量削減に向けた連携協定を結び、具体的な行動を始めたケースも見られます。</p>	<p>市域における二酸化炭素排出量については、環境省の公表している都道府県・市町村別に温室効果ガス排出量の推計値を示した「自治体排出量カルテ」を使用しています。</p> <p>なお、一事業所としての市役所の事務事業に伴う二酸化炭素排出量については、市公共施設におけるエネルギー使用量（電気、燃料）の集計と、温室効果ガス排出係数に基づいた積算を行っております。</p>	環境政策課